

心落ち着く書道 ユネスコ遺産に

◇私は書道教室に小学1年

生から通っている。一生けん命に練習し、小学6年生で特待生になった。書道雑誌で日本書道ユネスコ登録推進協議会の発足を知った。協議会は、

書道文化を国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録する運動をしている。国民に親しまれている書道文化を保護し、次世代に受けついでいく活動をしているのだ。

◇文化庁へ要望書を提出した。しかし、書道はまだ保護の対象になっていない。書道が無形文化遺産になるためには、まだまだ時間がかかると

思う。私は書道をしていると、心がとても落ち着く。その静かさで、時間がたつのを忘れて、書くことができる。書道をするので、たくさんのメリットがある。

◇まず態度だ。書道教室では先生に対する敬意が必要で、あいさつやお礼ができるようになる。集中力や正しい姿勢も身につく。これは、書道をするのにもっとも大切なことだ。忙しい毎日を忘れ、静かにゆっくりと書道に向かうことが、今の日本人に必要とされていると思う。たくさんの人が書道に親しみ、次世代に伝えるために、無形文化遺産になってほしい。

（山梨英和中1年・酒井陽菜）